

事例) vivola : cocoromi

女性医療×AIで不妊治療の課題解決 データ共有と悩みの共有

vivola株式会社が不妊治療にビッグデータ解析を行うことで治療計画をサポートするcocoromiというアプリを提供。主な特徴は3つ。①通院スケジュールや検査結果数値を管理できる。一般的に病院で医師が使用しているものと同じフォーマットでホルモン値の評価などを記録でき、別の病院に移ってもそのまま使える。②統計・同質・パーソナルデータで徹底分析が可能。これまで取得したcocoromiユーザで妊娠に至った2000人のデータから、自分の状況に近い人の治療データを表示することができる。③患者限定の情報交換機能が備わっており、ユーザー同士で治療内容や病院情報などについて質問し合ったり、情報交換したりできるトークルームや、コンテンツを閲覧できる。



<https://lp.cocoromi.com/>



ポイント

① 自身と類似データの閲覧が可能

体外受精で生まれた人の統計データや、自分と似た人の同質データが閲覧可能。不妊治療は自由診療であるため、病院によって治療方針や費用も異なっている。一般的知識では判断基準が難しいなか、自分と同質データを知ることで治療選択の判断材料となる。

② 患者同士の質問や情報交換ができる。

治療の内容や病院の情報について、カテゴリごとに質問や情報交換ができる。不妊治療に関する疑問を抱え込まず、悩みを打ち明ける事でどうしようもない孤独感を和らぐことができる。